

モニターレポート(5月報告)

【報告内容①】

連続するゴールデンウィークの初日ということもあり、県道新潟村松五泉線もかなりの交通量がありました。車が途切れることもなく、バイクのツーリングも見受けられました。

阿賀野川床固め公園には、早朝でしたが人も出ていました。床固め辺りは急流になっていました。床固めに打ち付ける水が白い波になり、躍動感がありました。阿賀野川も急な河川です。水難事故には十分な注意が必要です。

〈事務所からのコメント〉

ゴールデンウィーク中は天候にも恵まれ、阿賀野川の河川敷にある公園は、どこも家族連れ等で賑わっていたようです。

川でも海でも、水辺の付近では常に水難事故に注意する必要があります。阿賀野川床固め付近のように、場所によっては水の流れの速い箇所もあるため、当事務所では注意看板を設置しています。これから夏に向け、利用者が増えていきますので、7月上旬に「夏休み前の安全利用点検」を実施し、安全管理には十分配慮していきたいと思えます。

【報告内容②】

5月23日、水防訓練会場のテント設営作業に就業しました。初めての貴重な体験です。意外と大規模な設営にたくさんの関係者が集まり、炊き出しや参加型体験コーナーもあり、今後も楽しい河川イベントとして期待できます。

〈事務所からのコメント〉

阿賀野川総合水防演習の事前準備に就業されたとのこと、悪天候の中、ご協力ありがとうございました。阿賀野川では10年ぶりの開催となりましたが、当日は天候にも恵まれ、関係機関や地域住民の皆さん約2,500人が参加しました。演習の様子は、当事務所ホームページにも掲載されておりますので、ご覧下さい。

※複数のモニター報告を要約してあります。

【報告内容③】

春の風物詩のようになった「稚魚の放流」が今年も行われたニュースがありました。魚が生き生きと泳いでいる姿には、生命の輝きがあります。少子化が社会問題になっている日本ですから、生命の源である河川と親しむことは、幼少年期の健全な精神を養う大きな助けになると考えます。

〈事務所からのコメント〉

稚魚の放流をはじめ、河川は釣りやボートなどレクリエーション・イベントの場であり、また自然に親しめる場でもあります。幼少期に自然と多く接することは大事なことです。河川は洪水を防ぐ工事も大事ですが、このような川に親しめる整備を行うことも重要と考えており、今後も整備を行っていきます。

※複数のモニター報告を要約してあります。